

「世界に翔け！」

生徒部・部活動係通信 No. 35

再表彰ならびに国民体育大会壮行会

全国大会壮行会					
No.	部活動	年	組	氏名	登壇内容
1	駅伝	1	6	吉村聡介	国民体育大会 少年B男子3000m
2		3	8	柳本匡哉	
3	水泳	3	4	江角真叶	国民体育大会 バタフライ 個人メドレー 自由形（短距離） 個人メドレー 背泳ぎ 平泳ぎ 個人メドレー 自由形 自由形
4		3	5	東みづき	
5		3	5	土井香凛	
6		2	6	神偉雄	
7		2	6	山下結生	
8		2	6	池田りんか	
9		1	5	木村碧海	
10		1	5	渡辺華奈江	
11		1	10	大野虎次郎	
12		剣道	3	2	

全国大会出場部活動戦評

駅伝

アジア王者・柳本は日本人最高成績を狙う！1年吉村は都大路に繋がる走りを！

高校総体にて日本人最高成績である第2位入賞を果たした柳本匡哉選手は、その結果を受けて「日・中・韓ジュニア交流試合」に参加する日本代表選手へ選考された。結果は、圧倒的な強さで優勝を果たし、名実ともに豊川のエースとして頭角を現してきた。国体では、その勢いに乗り、優勝を目指すことになる。一方の1年生・吉村聡介は愛知県選手権での好走を評価されての愛知県代表入り。豊川勢は2年連続でこの種目で全国入賞を果たしているだけに、負けられないレースとなりそうだ。

水泳

国体出場組はインターハイ・全国J.Oと徐々に復調！集大成で魅せる！

全国高校総体で表彰台に立った土井香凛・東みづき・木村碧海の3名は全国J.Oでも安定した成績を残した。土井・木村と共に国体へ出場する渡辺華奈江が出場メンバー入りした400mリレーでは圧巻の全国制覇。国体への絶対的な自信を得た。男子に目を向けても、主将の江角真叶選手が全国J.Oでは第3位入賞。2年生の神偉雄・山下結生選手も総体でのタイムを縮めて全国上位進出を果たした。日本選手権からスタートした水泳競技はここからシーズンオフへと向かう。国体を集大成の場として、多くのベストタイム更新を期待したい。そして、次年度以降での全国王者返り咲きへの足掛かりとしたい。

剣道

創部初の快挙！初の全国舞台での飛躍に期待！

創部初となる愛知県選抜入りを果たした柴田耕作選手。愛知県選抜入りだけに留まらず、愛知県としても9年ぶりとなる国体本戦への出場権獲得に大きく貢献した。東海ブロック大会では3戦全勝。茨城県にて行われる国体本戦は柴田選手にとっても初の全国の舞台となる。物怖じせず、思い切った戦いに期待したい。

部活動再表彰						
No.	部活動	年	組	氏名	登壇内容（最高成績のみ掲載）	
1	水泳	3	4	江角真叶☆	全国JO	200mFly＝第3位
2		3	4	関根濤央	全国JO	100mFly＝第5位
3		3	5	成田翔一	全国JO	100mFly＝第7位
4		3	5	東みずき☆	全国総体	400mIM＝第2位
5		3	5	土井香凜☆	全国総体	50m自由形＝第3位
6		2	6	森耀平	全国JO	400mﾌﾘｰﾘｰﾙｰ＝第5位
7		2	6	長澤樹	全国JO	400mﾌﾘｰﾘｰﾙｰ＝第5位
8		2	6	神偉雄☆	全国JO	400mIM＝第4位
9		2	6	原崎伊織	全国JO	400mﾌﾘｰﾘｰﾙｰ＝第5位
10		2	6	山下結生☆	全国総体	200mBc＝第7位
11		2	6	山内麻以	全国JO	400mﾌﾘｰﾘｰﾙｰ＝第2位
12		2	6	池田りんか☆	全国JO	100mBr＝第3位
13		2	6	畑田真奈穂	全国JO	100mFly＝第8位
14		1	5	木村碧海☆	全国総体	200mIM＝第2位
15		1	5	渡辺華奈江☆	全国JO	400mﾌﾘｰﾘｰﾙｰ＝優勝
16	書道	3	7	平松歩華	全国高等学校総合文化祭：文化連盟賞	
17		3	7	山本祐菜	曹洞宗青少年書道展：団体第1位	
18	女子バレーボール	3	5	長尾天音	皇后杯全日本選手権・愛知県ラウンド：第3位	
19		3	4	杉浦由奈	愛知県選手権大会：優勝	
20		3	9	山田茉結菜	愛知県私学祭：優勝	
21	登山	2	2	石田晟三	愛知県高等学校夏期登山大会：第4位	
22	弓道	2	6	原田愛珠	愛知県私学祭：団体戦＝優勝	
23		1	4	大坪珠己	愛知県私学祭：個人戦＝優勝	
24	男子バドミントン	2	1	森岡和春	東三河選手権大会：シングルス＝優勝	
25		1	2	伊藤拓海	東三河選手権大会：ダブルス＝優勝	
26		1	6	松永慈恩	東三河選手権大会：シングルス＝優勝	
27	女子バドミントン	2	6	小林真菜	東三河選手権大会：ダブルス＝優勝	
28		1	8	佐藤空	東三河選手権大会：ダブルス＝優勝	

再表彰該当部活動戦評	
水泳	
全国高校総体および全国JOにて多くの全国入賞者が誕生した。庄巻は全国JO女子400mﾌﾘｰﾘｰﾙｰでの優勝。個人においても3名が全国大会の表彰台に上った。尚、☆印のついた選手は茨城国体への出場権を獲得している。	
書道	
平松さんは佐賀県にて行われた全国総文化祭へ出場し、全国の書道家と親交を深めた。また、曹洞宗青少年書道展は福山諦法猊下を前理事長に仰ぐ本校は毎年、是が非でも団体第1位を獲得したい。書道部のみならず、全校の作品を出展し、団体1位を獲得した。	
女子バレーボール	
着実にステップアップを図っている印象を受ける。各大会での上位進出は大きな自信となったはず。特に愛知県選手権ではインターハイ予選で敗れた誠信を撃破しての優勝。春高バレー初出場への視界は良好だ。	
弓道	
3年ぶり3回目の私学祭団体戦優勝。また、個人戦の優勝は創部初となった。この結果により、3月末に開催される全国私学大会への出場権を獲得した。	
男子バドミントン	
完全制覇を達成した。本日登壇の選手のみならず、シングルス・ダブルス共に1～3位まで表彰台はすべて本校が独占。今後大きな期待が持てる結果となった。	
女子バドミントン	
ダブルスにおいては、準決勝・決勝と苦戦を強いられたものの粘りの戦いで撃破。東三河の絶対王者の意地を見せた。シングルス優勝の小林真菜に関しては、持ち前の体力とラケットワークで危なげなく勝利を重ね、東三河2冠を達成した。	